

第4回スタートアップ政策推進分科会 経済産業省資料

「インクルーシブなエコシステムの形成」

イノベーション・環境局

2026年5月20日

インクルーシブなスタートアップ・エコシステムの形成に向けて（今後の取組み）

- 女性起業家を含むスタートアップ関係者の人権を擁護しハラスメントに遭いにくい環境を作るため、今夏までに、ハラスメントに関する相談窓口を中小企業基盤整備機構に設置予定。
- さらに、経済産業省は「GIRAFFES Japan」事業において引き続き、女性起業家のエンパワメントに向けて、女性起業家支援ネットワーク形成の取組を支援。
- 加えて、金融庁及び経済産業省は「ベンチャーキャピタルにおいて推奨・期待される事項（VCRHs）」に推奨事項としてハラスメント防止を盛り込むとともに、関係業界に周知・普及を行う方向で調整を進める。

中小機構におけるハラスメント相談窓口の設置

- 中小機構の実施するスタートアップ相談対応事業において、新たにハラスメント相談窓口を設置。
⇒スタートアップや起業予定の方のハラスメントに関する相談について、弁護士による1回1時間程度の無料面談を可能とする。
- 男性・女性弁護士を専門家として登録。

女性起業家支援ネットワーク構築事業

- 令和6年度より女性起業家支援事業「GIRAFFES JAPAN」を実施。
- 全国8地域（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州）で女性起業家に対して一貫した支援を提供するネットワークを構築。
- さらなる女性起業家のエンパワメントに向けて、本事業による女性起業家支援ネットワーク形成の取組を促進。

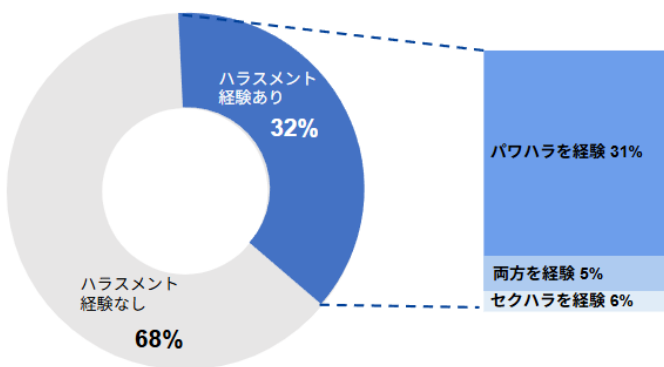


(参考) インクルーシブなスタートアップ・エコシステムの形成に向けた調査

- 経済産業省の協力のもと、山口慎太郎（東京大学大学院経済学研究科経済専攻・教授）を中心とした研究チームが「スタートアップ企業における経営環境と職場環境に関する調査」¹を実施。
- さらに、経済産業省は、令和7年度ユニコーン創出支援事業（女性アントレプレナーのための地域密着型支援事業）「GIRAFFES JAPAN」において、上記調査で用いられた調査票と同じものを用いて調査を実施。
- これらの調査において、スタートアップを対象とするハラスメントの加害者は取引先やベンチャーキャピタリスト、メンター等多岐にわたること、女性起業家の多様なネットワーク構築支援の重要性等が示唆された。

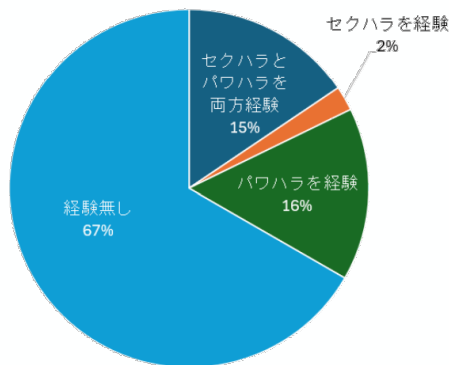
スタートアップへのハラスメントタイプ

回答者の1/3ががこの1年の間に何らかのハラスメントに相当する出来事を経験



出所 「スタートアップ企業における経営環境と職場環境に関する調査」

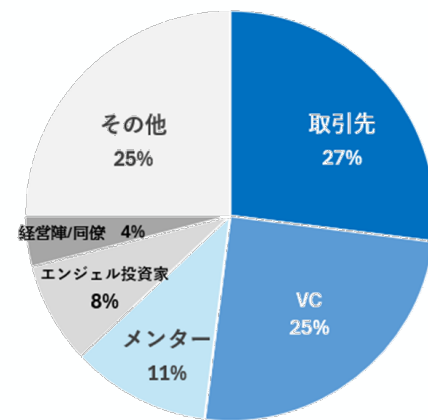
過去1年におけるハラスメントの経験 (n=45)



出所 「スタートアップ企業における経営環境と職場環境に関する調査」 (GIRAFFES JAPAN)

加害者の多様性

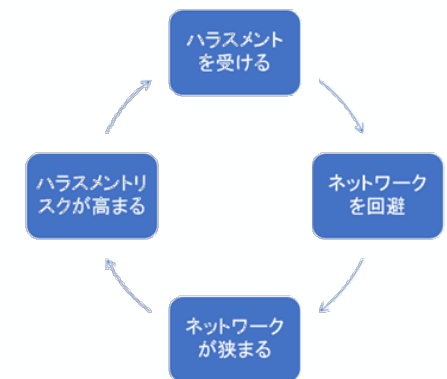
加害者は取引先(27%)、VC (25%)、メンター(11%)など多岐にわたる。



出所 「スタートアップ企業における経営環境と職場環境に関する調査」

ネットワーク構築支援の重要性

ネットワークの広さはセクハラや報告と負の相関関係にあることが示された。また、ハラスメントが生む脆弱性の悪循環も示唆。



出所 「スタートアップ企業における経営環境と職場環境に関する調査」

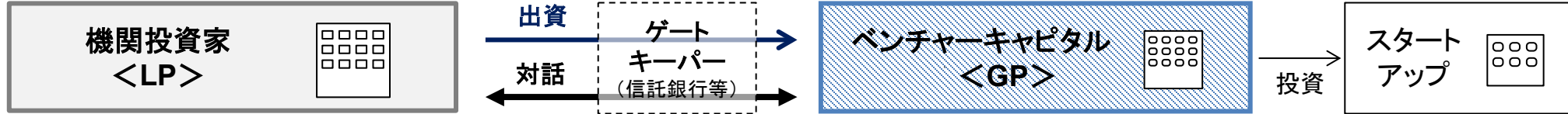
※ 1 同調査は、経済産業省の協力のもと、東京大学、京都大学、一橋大学、慶應義塾大学の4大学が共同で実施された。企業情報プラットフォーム「Speeda」に登録されている2015年以降設立のスタートアップ全13,264社を対象とし、467件の有効回答を得て実施。
出所 東京大学によるプレスリリース (<https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400285350.pdf>)



(参考)「ベンチャーキャピタルにおいて推奨・期待される事項」(概要)

2024年10月17日
ベンチャーキャピタル
に関する有識者会議

- 国内外の機関投資家の資金がベンチャーキャピタル(VC)に円滑に供給されるよう、広く内外機関投資家から資金調達を目指すVCについて、ファンドへの投資者(LP)及びファンド運営管理者(GP)の「推奨・期待される事項」を策定



- | 位置づけ | 対象となるVC |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> VCのガバナンス等が向上することで、内外機関投資家によるVCへの円滑な資金供給、スタートアップへの全般的な出資機能の強化、スタートアップエコシステムの進化を目的とする 広く内外機関投資家から資金調達を目指すVCにおいて、VCの実態に応じ、LP及びGPにより活用されるものとして作成 本有識者会議として推奨又は期待する事項をまとめたものであり、当該推奨・期待に応じた対応をどのように行うかは、LPとGPの間で意思疎通されることが期待される | <ul style="list-style-type: none"> 広く内外機関投資家から資金調達を目指すVC ※ CVC、金融系・大学系VC、初期段階のVCは、本業とのシナジーや資金調達状況等を踏まえた運営体制を取ることが想定される 一方、LPの意向やGPの将来展望等を踏まえ、必要に応じて推奨・期待される事項が参照されることも期待される |

広く内外機関投資家から資金調達を目指すVCとして備えることが「推奨される事項」と、スタートアップエコシステムの発展に寄与し、LPの中長期的なリターンを向上させるものとしてVCに一般的に「期待される事項」の二段構成

推奨される事項		期待される事項(※)	
受託者責任・ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> ● 受託者責任の認識・LPへの説明 ● 持続可能な経営体制(キーパーソン等)の構築 ● コンプライアンス管理体制の確保 ● LPの権利の透明性確保 	投資先の企業価値向上	<ul style="list-style-type: none"> ● スタートアップの成長に資する投資契約 ● 投資先の経営支援(人材紹介、ノウハウ提供等) ● 投資後の継続的な資本政策支援等(フォローオン投資、ファンド期間の延長、M&A含む最適なエグジット手法・時期の検討) ● 投資先の上場後の対応(クロスオーバー投資)
利益相反管理等	<ul style="list-style-type: none"> ● 利益相反管理体制の整備(LPへの諮問等) ● GPIによる出資コミットメント等 	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● ESG・ダイバーシティ
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ● 保有資産の公正価値評価 ● 四半期ごとのファンド財務情報等の提供 	<p>※ 目指すべき全体的な方向性を示すものであり、個別のVCの戦略は多様であることに留意</p>	

概要

推奨・期待される事項の内容